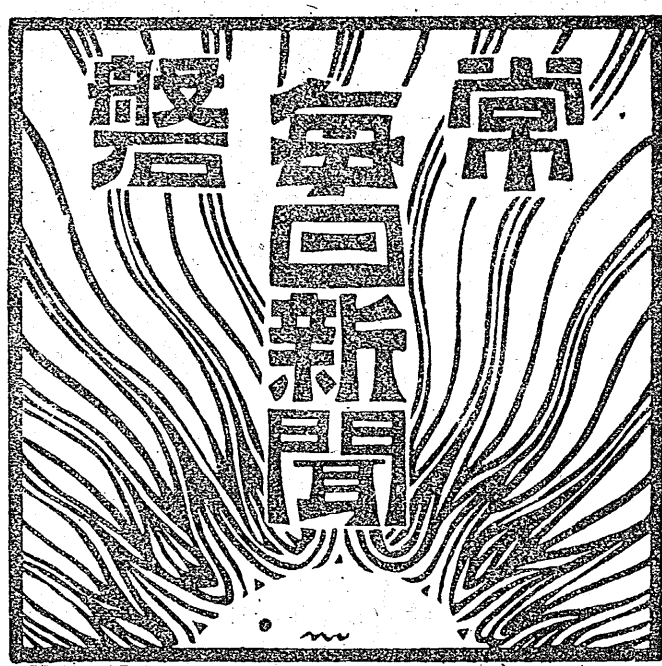


日刊 一發行飛鶴山人 川崎文台 本社下同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日三十月七

定部金貳圓 一ヶ月廿圓 三ヶ月五拾圓 半年九拾圓 一年一圓七拾圓 廣告費 一頁五拾圓 二頁四拾圓 三頁三拾圓 四頁二拾圓 五頁一拾圓 六頁八圓 七頁七圓 八頁六圓 九頁五圓 十頁四圓 十一頁三圓 十二頁二圓 十三頁一圓 十四頁一圓 十五頁一圓 十六頁一圓 十七頁一圓 十八頁一圓 十九頁一圓 二十頁一圓 二十一日一圓 二十二日一圓 二十三日一圓 二十四日一圓 二十五日一圓 二十六日一圓 二十七日一圓 二十八日一圓 二十九日一圓 三十日一圓 三十一日一圓 三十二日一圓 三十三日一圓 三十四日一圓 三十五日一圓 三十六日一圓 三十七日一圓 三十八日一圓 三十九日一圓 四十日一圓 四十一日一圓 四十二日一圓 四十三日一圓 四十四日一圓 四十五日一圓 四十六日一圓 四十七日一圓 四十八日一圓 四十九日一圓 五十日一圓 五十一日一圓 五十二日一圓 五十三日一圓 五十四日一圓 五十五日一圓 五十六日一圓 五十七日一圓 五十八日一圓 五十九日一圓 六十日一圓 六十一日一圓 六十二日一圓 六十三日一圓 六十四日一圓 六十五日一圓 六十六日一圓 六十七日一圓 六十八日一圓 六十九日一圓 七十日一圓 七十一日一圓 七十二日一圓 七十三日一圓 七十四日一圓 七十五日一圓 七十六日一圓 七十七日一圓 七十八日一圓 七十九日一圓 八十日一圓 八十一日一圓 八十二日一圓 八十三日一圓 八十四日一圓 八十五日一圓 八十六日一圓 八十七日一圓 八十八日一圓 八十九日一圓 九十日一圓 九十一日一圓 九十二日一圓 九十三日一圓 九十四日一圓 九十五日一圓 九十六日一圓 九十七日一圓 九十八日一圓 九十九日一圓 一百日一圓

常盤論壇 評論の評論 政界通人 民政黨は何をしてゐる、同情ある第三者の間にも漸く問題となりつゝあるは、其の不活潑である、折角揃へた二百二十の頭数をあげて本黨の穩着振りを學ばんとするのであるかと朝日は其の所謂第三者的論を論じた

ケ年間の壽命と税政一ケ年間の歴史に對する印象の生々としただけでも、暫時は沈黙する民政黨の方が、騒ぎやかに觀られるはすまい乎

一册の代金で 御希望通りな 五册の雑誌が 自由で讀める 川崎巡回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

涼しい御召物の... 絹麻小紋の宣傳 優美高尚着心地よく 而かも染色堅牢と大好評 新館階上陳列 涼しい縞巾形 軽い夏帯 豊富に取揃へてあります 是非御高覧の榮をお待ちして居ります

本邦噴霧器界の權威 舶來品に優る堅牢無比 牛田式噴霧器各種 理化學研 果樹藥劑消毒藥 究所新製 ネオトシ原藥 新入荷 石灰窒素肥料

西村屋藥舖 電話三番 灰窒素説明書御 申越次第進呈

外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 光線科 赤心堂病院 田町 電話四七五番

肺病ロクマクの妙藥 ホシアンチツベルケン (五日分定價一圓八錢) 過去十有年幾多の人を救へる東洋一の此靈藥 迷ふ勿れ 疑ふ勿れ 信賴せよ 肺を病む人 平町三丁目 電話四二九番

新意匠の 戒名入提灯 御用命を待ちます 各種提灯商 スガノヤ提灯店 平町四丁目 (電話七二二番)

大和家 南町 (電話十四番) 御宴會 五品御銚子一本付金壹圓貳拾錢より 蒲燒 御一人前 金壹圓貳拾錢 右の通り大勉強致します何卒御引立の程願ひ上げます

飲むこそすくキク クノ一散 齒痛、神經痛、頭痛の特効藥 平町各藥店に販賣す 試みられよ、 悩みには 靈藥ムテキにより 切斷の苦しみがなく而して速く癒ります 代理 石城郡四倉町驛前 佐藤藥店 荒川屋旅館

營業科目 親切第一 電氣器具 日立 芝浦 確實敏捷

東部電力の特典提供 自昭和二年七月十一日 廿一日間 御申込期間 至昭和二年七月卅一日 五期入電球 期間内に廿四燭光以上の増燈又は増無料提供 球を無料で御貸付いたします

營業所新設記念 平倉間合乘自動車割引 今般平町二丁目平銀行前に營業所新設の爲の紀念として當分左記場所より御乗の方に限り 平二丁目より 四倉迄 片道 金貳拾錢

名特 拭手入名 價提 供 徒弟入用 一十三四歲位ノ者四五名 吉田屋 染工場 (電話五五八番) (振替仙台五三二八番)

戸数割の賦課は 昨年よりも軽い

地方税改正の結果

一戸平均二圓廿一錢減少

平町にては今回特別戸数割賦課の徴收令書を配付したが前年迄は一般に縣稅戸數割を賦課し更に町稅戸數割を賦課した。

附加税

を賦課されたのであつたが本年度からは地方税に關する法律が改正の結果縣稅戸數割を廢止し新たに縣稅家屋税を設定し家屋の所有者に賦課する事になつた爲め家屋を所有せず又營業其他の課稅行爲を爲さざる

平局電話

百廿口突破か

人々は

單に特別稅戸數割のみとなり然も一戸當り平均額は昨年十二圓五十錢であつたのが本年十圓二十五錢となり昨年よりも二圓二十一錢の減少を示すに至つたのであるから夫れは負擔が輕くなつた譯である。

平劇場の

教育ヒルム

兒童研究會後援

石城兒童研究會後援の許に來る十五六の兩日平劇場に於て教育活動寫眞會が催される、上場映畫は生きたる教化史とも云はれる『二宮金次郎』及び三土前文相推賞の殉職美談『河西訓導』であつて料金は小學生五錢中等學校生徒十錢である。

地元の負擔

豫算に計上か

疎水復舊費

石城郡南鯨川疏水の復活問題に就き小野、古川、井上草野四縣議外關係町村長等出福した事既報の如くであるが縣當路者も大いに其必要を認めて居るので實現可能と關係民は非常な意氣であるが仄聞する處に依れば

同工事總額は三十二萬圓にして内農林省より半額補助あり殘餘十六萬圓の内縣は六分を負担し四分を地元が

石炭の相場強調

當分好勢持續か

一圓乃至五十錢方昂騰

石炭は例年夏期が不需要期に當るのでさしたる相場の變動もなかつたが昨今特に目立つて來たのは濁水による火力發電用の石炭が必要を増加したことである、従つて相場も幾分便化の氣味となり益々強調を呈して來た、前途もなほこの好勢が持續されるものと見られてゐるが常磐炭の相場は隅田川渡り塊炭一等十八圓から二十圓、二等十三圓から十八圓、粉炭は八圓から九圓と何れも前報に比し一圓乃至五十錢方の昂騰を示してゐる。

拘留が職業

無畏の青年 各地を流浪

平町字田町坂本實(三九)は本年一月出獄し間もなく綴驛から無賃乗車をなし水戸警察署で拘留七日に處せられその後仙台、盛岡等の警察署で拘留處分を受け、十一日植田署に捕はれたが同人は常に懷中無一物で無錢飲食、無賃乗車をなし、草面に働くよりも警察署に留

豫定線變更

江名町が陳情

石城郡江名町及豊間村方面に於いては鮮魚の輸出方に



茄子の酢味噌

茄子は皮をむき、堅に二つ割とし水に浸してアクを抜き小口より斜めに刺身をひくやうに切り、茄子の形を

本年の盆踊りは 許すかどうか?

先帝陛下の喪中で

平署ソロ／＼頭を痛む

梅雨明けとなつて、陽光は用捨なくカン／＼と照り出し、やがてそろ／＼と御盆は近づき初めた。夕來れば老も若きも踊狂はざるべからずと

年中行事

の二つに數へ、今からその日を指折りつゝあるが本年は未だ先帝陛下の喪中にあるので平署もこの點に留意し許すべからずと、許さざるかにつき目下考究中である、喪中を考

負擔すべき條件らしく斯くして多分明年度豫算に計上されるものと觀られてゐる

簡保大勧誘

平局員總出で

平郵便局では別項簡易保險郵便年金講習會終了後簡易保險第二回大募集及び郵便年金の募集に着手する筈であるが該募集に就ては兩者共地方民が充分に理解してゐないから田村局長自ら陣頭に立つて徹底的普及募集に従事する筈である。

今晚の十三日會

平

町十三日會は本日午後七時より平銀行に開き中村月城氏の『合理的な生活に就て』と題する講演ある由

簡易保險講習

平町

を中心とした濱通り各郵便局長及び局員を網羅して十三四の兩日平町第一小學校に簡易保險及び郵便年金講習會を開催する事となつたが指導員としては仙台遞信局から二名の保險課員出張其任に當ると

拓殖大學辯論

來十

七日午後七時から拓殖大學辯論部の辯論大會を平町第一小學校講堂に於て催す筈であるが同大學教授小林郁氏外三名で入場無料である

平町人事

▲出生

▲一丁目二〇〇當時茨城縣多賀郡助川町荒井彌太郎氏四女トキ子

▲婚姻

▲東京市芝區神町 伊藤正夫氏(三〇) 田町五四 青木マヌ(二六)

▲死亡

▲四丁目二五當時茨城縣上岡村鈴木なつ(五〇)

▲飯沼町四 當時東京府北豐島郡日暮里吉田正男(五七)

いて許すべく豫定してゐるが、他地の例が不同一步調に出づる筈だから目下のところ全く、盆踊の可否については意見を述べることは出来ない

滑川氏の

遺兒の爲めに

教育資金協議

故滑川磐中校長の遺兒教育資金は同校同窓會校友會を初め各關係者により過般來夫々募集中であるが募集締切も切迫して來たので十四日午後七時から磐城銀行樓上に於て懇談會を開き唐土校長の募集經過報告に次で

觀世研究會

昨夜平陽校で

平町在住觀世流同好者より成る研究會の七月例會は昨十二日の午後四時から平陽裁縫女學校に於て開會した

平町人事

▲出生

▲一丁目二〇〇當時茨城縣多賀郡助川町荒井彌太郎氏四女トキ子

▲婚姻

▲東京市芝區神町 伊藤正夫氏(三〇) 田町五四 青木マヌ(二六)

▲死亡

▲四丁目二五當時茨城縣上岡村鈴木なつ(五〇)

▲飯沼町四 當時東京府北豐島郡日暮里吉田正男(五七)